

■ The National Archives 所蔵の第二次世界大戦関連資料

# 検閲が語る第二次世界大戦

## —イギリス政府の政策と実態—

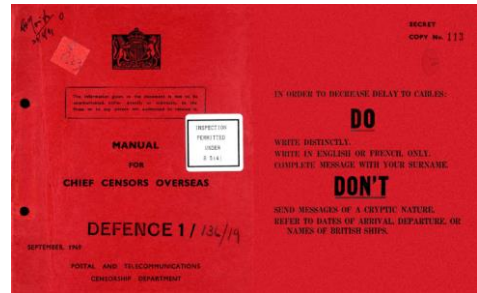
### Censorship: Policy and Practice During the Second World War

#### 検閲官の視点から第二次世界大戦の隠された側面を明らかに

本コレクションは、イギリス The National Archives の国防省ファイルから 17,000 枚以上の画像を掲載し、現代史の重要な時代における英国の郵便・電信検閲を探求します。本コレクションは、1939 年の戦争勃発後、検閲を実施・調整するために取られた最初の試験的な段階を概観することから始まります。収録されている文書は、急遽編成された検閲チームが、その後の大きな技術発展に適応しながら、第一次世界大戦からの教訓や指導的先例を振り返っていた様子を明らかにしています。敵に機密情報や危険な情報を漏らす可能性のあるすべての通信を監視する必要があった検閲部隊の業務は、すぐに「秘密戦」と呼ばれる最も重要な戦線の一つとなりました。(ただし、その重要性は十分に評価されていませんでした)

検閲は、広範囲な国際的な取り組みとなり、イギリスだけでなく、自治領、植民地、同盟国（アメリカを含む）、そしてアイルランドのような中立国も関与しました。検閲チームは世界中で結成され、通常は現地の人々、特に女性を雇用していました。彼らは 24 時間体制で働き、すべての通信が評価され、必要に応じて警告が付けられ、迅速に転送されるようにしました。検閲システムを効率的で堅固なものに保つため、ロンドンから政策、指示、公式ガイダンスが大量に発信されました。様々な背景を持つ検閲官たちは、巧妙に隠された場合でも、暗号を解読し、不審な資料を見分けることに熟達していきました。

戦争末期と連合国勝利後、検閲部隊は、オーストリア、ドイツ、イタリアを含む占領地域の住民間の通信を監視するという新たな責任を担うことになりました。これは単なる安全保障措置ではなく、一般市民の士気を測る重要な指標—元敵国の市民の態度を評価する方法でもありました。本コレクションが示すように、検閲は戦争に勝利するのを助けただけでなく、その後の平和を確保する上でも重要な役割を果たしました。本コレクションは、軍事・政治史、イギリス帝国の歴史、国際関係、安全保障・諜報に関心を持つ学生や研究者にとって豊かな資料となっています。



#### 大学・学術機関向け価格

| FTE (学生数+教職員数) | 3,000~4,999       | 5,000~9,999 | 10,000~19,999 | 20,000~29,999 | 30,001 以上 |
|----------------|-------------------|-------------|---------------|---------------|-----------|
| Archive 買い切り価格 | 価格は弊社までお問い合わせください |             |               |               |           |

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの年間管理費(Annual Hosting Fee)は不要です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

**トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで**

日本総代理店 **極東書店**

**FAR EASTERN BOOKSELLERS**  
KYOKUTO SHOTEN LTD

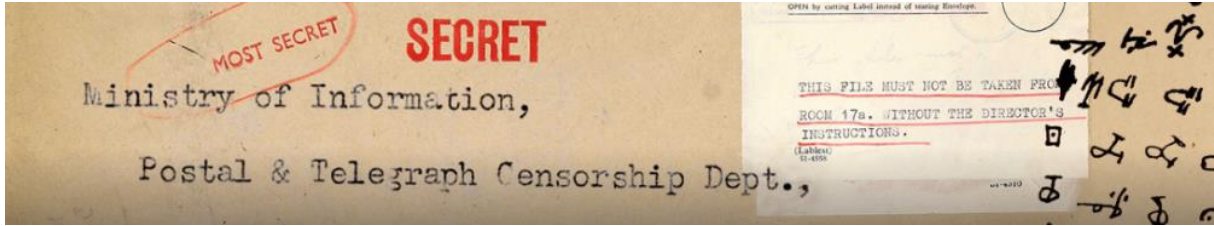
〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル  
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル  
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761  
075(353)2093 FAX (353)2096  
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: [info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)

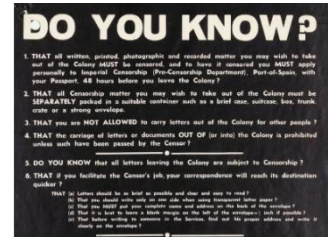




■収録史料のハイライト

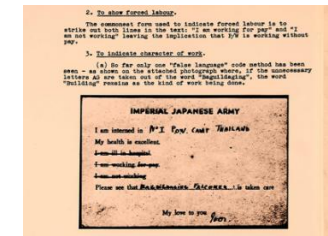
**DEFE 1/209 - Overseas Censorship: Inspections of Caribbean Censorship Stations**

戦争により、イギリス本国と帝国全域で検閲政策について人々を教育する協調的な取り組みが必要となりました。このトリニダードで発行された文書(画像 542)では、「植民地から持ち出そうとするすべての文書、印刷物、写真、録音資料は必ず検閲を受けなければならない」と警告しています。



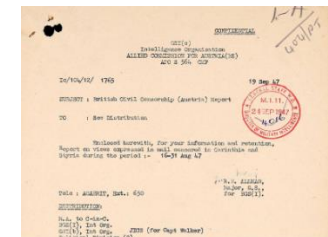
**DEFE 1/211 - Overseas Censorship: United States Censorship Procedures and Publications**

検閲を回避する革新的な方法が常に開発されていました。この文書(画像 46-55)は、日本人捕虜たちが、自分たちの状況や待遇に関する情報を伝えるために、アナグラム(文字の並べ替え)を基にした暗号を作り出していたことを明らかにしています。



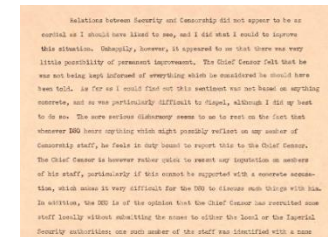
**DEFE 1/398 - Reports on Civil Censorship in Austria and Germany**

戦争末期および連合国勝利後、検閲は元敵国領土における世論を測ることに重点が置かれるようになりました。この文書(画像 16-30)は、イギリスの占領に対するオーストリア人の反応を考察しています。賃金や食料の入手可能性に関する人々の感情、そしてイギリスやナチズムに対する態度を調査しています。



**DEFE 1/160 - Overseas Reports: Report on the Jamaica Censorship Station**

イギリスの検閲ネットワークは、その帝国全体に及び、膨大なものでした。それは地域社会、特に女性たちの雇用を生み出しました。しかし残念なことに、検閲事務所にもジェンダーや人種の緊張関係が存在していました。この報告書(画像 10-23)では、ジャマイカ事務所への今後のスタッフ任命は「イギリス生まれ」で「島外から供給される」べきだと推奨しています。



British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで



日本総代理店 **極東書店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: [info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)